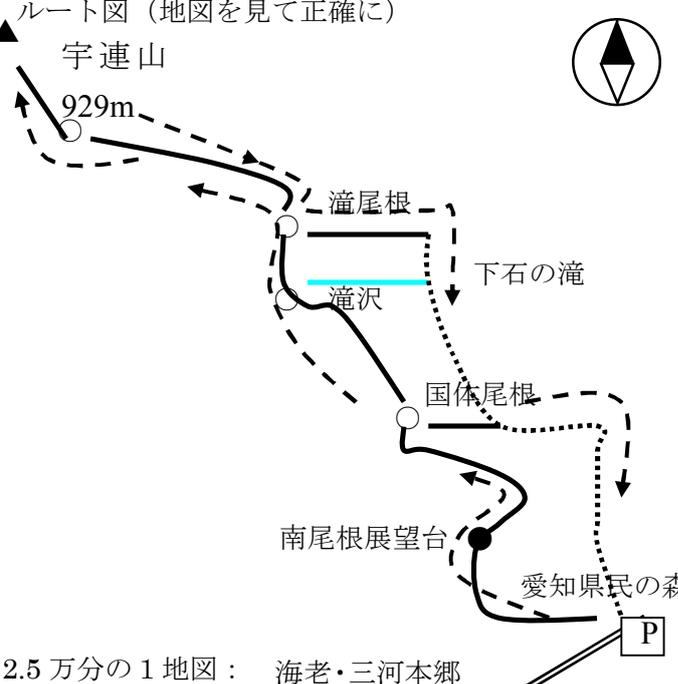


8 月度 例会 個人 山行報告書		報告者	中山 正夫	参加 メンバー	CL : 中山 正夫
		報告日	9/9		
山城	奥三河	山行日	09年 8月 22日 (土)		
山名	宇連山				

山行目的	バイク単独で体力トレーニング	コースタイム (天候 : 天気図記号)
------	----------------	---------------------

配布先	ルート図 (地図を見て正確に) 宇連山 
集会:12	
山行: 1 リーダー	
原紙:集会 担当者	

8/22(土) 曇り
04:30 自宅発
豊川 → 新城 → 鳳来寺
06:00 県民の森登山口着
06:05 登山口発
06:50~7:00 休憩(南尾根展望台過ぎ 445m)
07:55~8:05 休憩(600m)
08:55~9:05 休憩(棚山分岐)
09:20 宇連山頂上
09:40 頂上発
10:15 滝尾根分岐通過
10:40~:55 休憩(滝尾根展望台)
11:15 下石の滝
12:00 登山口着
新城 → 豊川 → 蒲郡
14:00 自宅着



南尾根の岩場

〈山行報告〉8/21(土)4:30 自宅発で豊川→新城→愛知県民の森にバイクを止める 6:00。キャンプサイト B の中を抜けて南尾根登山道に入っていく。しばらく雑木林の中をジグザグに登っていく。登りきって尾根に出ると、茶褐色の岩尾根になる。人の歩いた所は白っぽくなっていて、その跡をたどっていくので、ルートは間違えないと思った。何度も標高 450m 前後のピークをアップダウンし、東屋のある南尾根展望台に着く、6:50 休憩。展望は良い。国体尾根分岐を過ぎ標高 600m 付近で 7:55 休憩。ここまでは鉄杭に鎖のついたガードが要所があり、安全登山に配慮されている。滝沢分岐、滝尾根分岐、北尾根分岐と幾つものバリエーションルートがあり、道標もしっかりしている。棚山分岐にて 8:55 休憩。ここから、丈の高い桧と雑木の中を視界悪く登っていく、9:40 頂上着。後から二人登ってきた。下りは滝尾根ルートをとる。上部は広い顕著な尾根で、途中に大きな岩の上に展望台(東屋)が立っている。下部は急な木の階段が連続して、下石の滝に下りる。4 段 50m の立派な滝で、涼しい風が吹いていた。林道を歩いて、国体尾根の登り口を過ぎ駐車場 12:00 着。雨が降り出したので、カッパを着てバイクに乗る、14:00 自宅着。

(感想)偶然に今年の社内登山が宇連山になったと金子 CL より聞き、偵察も兼ねて登った。上りルートの南尾根ルートは長く健脚向き、初心者向きは国体尾根かと思う。下山ルートとしての滝尾根コースは変化があり、おもしろいので、候補に上げたい。

〈リーダー所見〉前回の大会無間でバテたので、暑さの中の体力トレーニングが必要だと思い、宇連山を選んだ、汗はいっぱい掻いたが、まずまずの結果だった。暑い時の体調管理が大事なことは前からわかっていたが、どうしてもサボりがちになるので、気をつけなくてはと思う。

岩尾根に人の歩いた白い跡
 茶苔生えソーメン滝の釜はつゆ色
 いつまでもあると思うな金と髪
 ぼうず頭をふりふり登る
 沖仙

確認 (リーダー)	中 09/09/08 山
作成 (報告者)	
	09/09/08 山